

## 使用済「サンゴの力」を使った切花の寿命実験

使用済みの「サンゴの力」を花瓶の中に入れておくと、切花が長持ちするということが言われているので実験してみました。

### 1. 実験方法：

実験期間： 2012年6月3日～6月17日

- ① 2つのコップに水道水を200mLずつ入れて、片方には使用済み「サンゴの力」を投入し、攪拌する。
- ② それぞれのコップに切花（ガーベラ）を1本挿す。
- ③ 花の状態を毎日写真撮影する。

※ 水の入れ替えはしていません。

### 2. 結果（次ページの写真参照）

水の濁り： 水道水のみ方は、5日目で水が濁ってきた。

使用済「サンゴの力」入の方は、8日目によりやく水が濁り始めた。

花の寿命： 水道水のみ方は、7日目で花びらがしおれてきた。

使用済「サンゴの力」入の方は、15日目によりやく花がしおれた。  
水道水のみの場合より、約2倍の日数長持ちした。

### 3. 考察

切花の寿命を短くする要因として、水の雑菌（バクテリア）発生があります。バクテリアが増えると茎が水を吸い上げる管（道管）が目詰りを起こして、水揚げができなくなるためです。

水道水のみの場合には数日で残留塩素が消滅すると殺菌効果がなくなるため、早く水が濁り始めます。

使用済「サンゴの力」入りの場合は、銀の抗菌効果と弱アルカリ化によりバクテリアの発生、繁殖が抑えられて、切花が長持ちするものと考えられます。











※ 使用済の「サンゴの力」でも銀の抗菌効果やサンゴのアルカリ効果は少し残っています。

今回の実験では水の入れ替えは実施していませんが、使用済「サンゴの力」を使用した場合でも、三日に一度程度は花瓶の水を入れ替えることにより、花持ちが良くなると思われます。








#### <注意>

**新品の「サンゴの力」を花瓶の水に使用すると、バクテリアの発生は抑えられますが、アルカリ性が強すぎるため、かえって花の寿命を短くすることがあるのでおすすりできません。**

以上

経過日数	水道水	水道水+使用済「サンゴの力」
スタート (6月3日)		
2日目 (6月4日)		
3日目 (6月5日)		
4日目 (6月6日)		
5日目 (6月7日)	 <p data-bbox="515 1895 743 1928">水が濁ってきた</p>	

経過日数	水道水	水道水+使用済「サンゴの力」
<p>6日目 (6月8日)</p>		
<p>7日目 (6月9日)</p>	 <p>花びらがしおれてきた</p>	
<p>8日目 (6月10日)</p>		 <p>水が濁ってきたが、花びらは元気</p>
<p>9日目 (6月11日)</p>		
<p>10日目 (6月12日)</p>		

経過日数	水道水	水道水+使用済「サンゴの力」
<p>11日目 (6月13日)</p>		
<p>12日目 (6月14日)</p>		
<p>13日目 (6月15日)</p>		
<p>14日目 (6月16日)</p>		
<p>15日目 (6月17日)</p>		 <p>急に花びらがしおれた</p>